



2009年11月14～20日の会期で、米国オレゴン州ポートランド市にある Oregon Convention Center で開催された国際会議「Supercomputing 2009 (SC09)」において、東北大学の3機関（流体科学研究所・金属材料研究所・サイバーサイエンスセンター）が合同で研究展示を行った。

SCは、今から21年前に設立された、スーパーコンピューティングを専門とする世界で最も大規模な国際会議である。対象とする技術トピックは、高性能計算・ネットワーキング・ストレージ・数値解析など、多岐に渡る。今年のSC09では、科学・工学分野に属する研究者・教育者・プログラマー・システムアドミニストレーター・プログラムマネージャー等が10,000人以上参加するとともに、計318機関による展示（研究展示：123、企業展示：195）が一同に催された。当研究所はこの研究展示を通して、諸外国からの多くの来場者に対して当研究所における最新の研究成果を紹介するとともに、スーパーコンピューティングにおける昨今の傾向・問題点について活発に議論するという絶好の機会を得ることができた。

加えてSC09では、著名人による数々の基調講演が行われた。Justin Rattner氏 (Intel Senior Fellow and CTO) からは「3D Internet」について、Leroy Hood博士 (President and co founder of the Institute for Systems Biology) からは「Bio-Computing」について、そして Al Gore氏 (米国元副大統領) からは「Sustainability」について、これまでの研究成果の発表および意見陳述があった。本会議に参加しこれらの基調講演を聴講できたことは、普段の生活では決して味わうことのできない貴重な体験となった。

